

# ビール大麦「ヤチホゴールド」の準奨励品種採用

## 1. 試験のねらい

本県のビール大麦は生産量日本一を誇り、土地利用型農業の基幹作物となっている。しかし、ミサトゴールドは醸造用品質面で実需者の要望を十分満たしているとはいえ、また、あまぎ二条の他はいずれも早生種で、収穫乾作業等が重なっている。さらに、近年は大麦縞萎縮病による被害が増大しつつある。

そこで、ミサトゴールド並の栽培性と多収性を持ち、大麦縞萎縮病およびうどんこ病に耐病性で、かつ、醸造用品質の優れる品種を選定し、県内ビール大麦生産の高品質安定多収化を図るため、本品種を麦類奨励品種決定調査で検討した。

## 2. 試験の経過

本品種は栃木県農業試験場栃木分場において、高品質、大麦縞萎縮病およびうどんこ病耐病性品種の育成を目標とし、昭和57年度に「大系R2067（(Mona×新田二条1号) F<sub>1</sub>×新田二条1号）」を母、「栃系144（後のミサトゴールド）」を父として人工交配を行い、昭和59年度にF<sub>1</sub>で大麦縞萎縮病現地選抜圃において耐病性系統を選抜、以降、派生系統育種法で選抜固定を図ってきたものである。昭和63年度に系統番号「栃系204」を、平成2年度には系統名「関東二条27号」を付した。平成4年12月に二条大麦農林15号として農林登録され、「ヤチホゴールド」と命名された。

本県においては、他府県に先立ち平成元年度に奨励品種決定調査に準じる試験を実施、平成2年度から奨励品種決定基本調査および現地調査等で各種特性、地域適応性を検討した結果、成績が良好であったので、平成4年10月に準奨励品種に採用された。

## 3. 特性の概要

「ヤチホゴールド」は「あまぎ二条」と比較して、

- (1) 出穂期は同程度～4日遅く、成熟期は同程度の中生種で、播種程度はⅢ～Ⅳである。
- (2) 株は閉じ、草姿は良い。稈長はやや長く、穂長はやや短い。穂数は同程度～やや多い。
- (3) 耐倒伏性は優り、やや強である。
- (4) 大麦縞萎縮病およびうどんこ病に強い。
- (5) 茎立が遅く、凍霜害を回避しやすい。
- (6) 子実重は優る。整粒歩合は同程度～やや優れ、整粒重は優る。
- (7) リットル重は同程度～やや小さく、千粒重は同程度～やや大きい。
- (8) 粒の外観品質は同程度である。
- (9) 麦芽エキスおよびエキス収量は優れ、ジアスターゼカと最終発酵度は同程度である。麦芽品質の総合評点は優れ、最高水準のはるな二条、ミカモゴールドと同程度である。

## 4. 普及地帯および栽培上の留意点

- (1) 普及対象地域は県下一円の二条大麦栽培地帯とし、普及見込み面積は6,000haである。
- (2) 遅播きすると成熟期が遅れるので、播種適期内での早めの播種に努める。
- (3) 耐倒伏性は強いが、極端な多肥栽培は醸造用品質の低下を招くおそれがあるので避ける。
- (4) 早刈り、刈遅れにより品質が低下する場合がありますので、適期収穫に努める。

(5) 穀皮が薄く剥皮しやすいので、脱穀、調製はていねいに行う。

### 5. 成果の要約

多収で、大麦縞萎縮病およびうどんこ病に強く、麦芽品質の優れるビール大麦「ヤチホーグルデン」を準奨励品種として採用することにより、本県におけるビール大麦生産の高品質安定多収化を図ることができる。また、本品種は中生種であり、早生種との組み合わせにより、収穫乾燥等の作業分散を図ることかできる。  
(担当者 育種部 伊藤 浩)

表-1 農業試験場における成績

品種名	出穂期 月日	成熟期 月日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m <sup>2</sup>	耐倒 伏性	縞萎 縮病	うどん こ病	子実 重 kg/a	整粒 歩合 %	整粒 重 kg/a	千粒 重 g	外観 品質	麦芽 品質 評点
ヤチホーグルデン	4.22	6.3	96	5.1	976	強	極強	極強	55.5	71.1	39.5	33.9	中中	71.8
標)あまぎ二条	4.18	6.3	88	5.4	896	弱	弱	中	50.2	78.0	39.2	34.2	中中	50.8
比)はるな二条	4.16	5.30	94	4.7	879	中	弱	弱	48.7	75.8	36.9	34.1	中中	71.3
比)ミサトコ-ルデン	4.15	5.31	95	4.9	881	強	極強	弱	55.6	82.8	46.0	37.9	中中/中下	57.9
比)ミサトコ-ルデン	4.17	6.1	93	4.8	870	中	極強	弱	53.6	78.9	42.3	36.1	中中	69.5

注1.奨励品種決定調査(宇都宮)平成2~3年度の平均。

2.11月上旬播種、水田ドリル播栽培(条間30cm)、播種量a当たり0.8kg。

3.施肥量a当たり N:0.8kg、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:1.8kg、K<sub>2</sub>O:1.6kg、堆肥100kg。

4.麦芽品質評点は、農試栃木分場水田条播栽培(昭和63~平成2年度)の成績

表-2 現地における成績

試験 場所	品種名	出穂期 月日	成熟期 月日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m <sup>2</sup>	倒伏 程度	子実 重 kg/a	整粒 歩合 %	整粒 重 kg/a	千粒 重 g
大田原	ヤチホーグルデン	4.29	6.9	105	5.3	1038	少	62.2	85.5	53.2	38.0
	標)あまぎ二条	4.25	6.7	101	6.0	889	中	62.0	80.2	49.7	35.9
	比)ミサトコ-ルデン	4.23	6.7	99	5.4	849	微	67.2	90.7	61.0	40.4
西方	ヤチホーグルデン	4.23	6.5	104	5.9	706	微	52.9	90.5	47.9	40.2
	標)あまぎ二条	4.19	6.5	90	6.2	752	少	50.5	84.7	42.8	37.6
	比)ミサトコ-ルデン	4.16	5.31	95	5.6	610	無	51.2	97.2	49.8	46.4
足利	ヤチホーグルデン	4.22	6.5	103	6.3	652	無	52.3	85.1	44.5	38.3
	標)あまぎ二条	4.16	6.1	95	6.4	732	無	52.3	85.7	44.8	36.1
	比)ミサトコ-ルデン	4.15	5.31	99	6.1	724	無	54.1	95.5	51.7	43.6
小山	ヤチホーグルデン	4.24	6.10	103	6.1	584	無	44.9	95.1	42.7	42.5
	標)あまぎ二条	4.22	6.9	92	6.3	540	少	43.3	93.1	40.3	38.0
	比)ミサトコ-ルデン	4.19	6.6	94	5.7	513	無	49.6	96.4	47.8	44.7

注1.奨励品種決定現地調査の成績(大田原、西方は平成2~3年度の平均、足利、小山は平成3年度の成績)

2.播種日は、平成2年度については大田原が11月1日、西方が11月18日。平成3年度については大田原が11月5日、西方および足利が11月13日、小山が11月30日である。